

技術試験衛星VIII型「きく8号」の 初期機能確認状況について

平成19年3月14日

宇宙航空研究開発機構

ETS - プロジェクトマネ - ジャ
辻畑 昭夫

1. 初期機能確認状況



- バス系
 - 平成18年12月28日～平成19年1月29日までに日照期間でのチェックアウトを完了し、正常動作を確認済み。
 - 現在、食期間でのチェックアウトを実施中(電源、姿勢関連)
- ミッション系
 - 展開アンテナは、送信、受信とも正常に展開したことをテレメトリ、画像により確認した。アンテナの電気性能は送信側については一部確認済み。受信側はLNAの回復後に実施予定。
 - 移動体通信ミッションは、
 - Kaバンド送受信系(フィーダリンク)の確認を完了。
 - Sバンド送信系の動作確認を完了。
 - 測位アンテナを用いたバックアップ系の動作確認を完了。
 - 今後、LDRアンテナパターン(送信系)、搭載交換機の確認を実施予定。
 - Sバンド受信系チェックアウトは、LNA不具合対策後に実施予定。
 - 測位ミッションは、
 - 原子時計、信号制御器等の機器動作確認を完了。
 - レーザーによる精密距離測定に成功(静止軌道に対する16.8mm(RMS)精度)
 - 残りの中継モードの確認は3月16日に実施予定。
 - その他のミッション機器(技術データ取得装置:静止軌道上磁場データ公開としては世界2番目の計測事例、展開ラジエータの排熱性能確認等)は、1月29日までにチェックアウトを完了し、正常動作を確認済み。



2. スケジュール



	平成18年度				平成19年度
	12月	1月	2月	3月	4月
主要マイルストーン	(12/18) 打上げ				定常運用 移行前審査 (TBD)
クリティカルフェーズ	□ (12/18 ~ 27の10日間)				
静止化制御		□ (12/28 ~ 1/8)			
食運用				□ (2/26 ~ 4/12)	
バス系チェックアウト		□ (12/28 ~ 1/29)			
ミッション系チェックアウト		(1/30 ~)	□		
			給電部受信系異常 (1/30)		
			NICT / JAXA 不具合 原因究明合同チーム		

